

S&P ESG 指数シリーズ メソドロジー

2024 年 5 月

この資料は英語で作成された資料の翻訳版です。日本語版と英語版との間で相違がある場合は英語版をご参照ください。英語版は www.spglobal.com/spdji に掲載されています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス: 指数メソドロジー

目次

はじめに	3
指数の目的	3
ハイライト	3
補足資料	4
適格性基準	5
指数ユニバース	5
複数のシェア・クラス	6
事業活動に基づく銘柄の除外	8
国連グローバル・コンパクト(UNGC)に基づく銘柄の除外	9
論争的となる問題:メディア及び利害関係者分析のオーバーレイ	9
S&P グローバル ESG スコアに基づく銘柄の除外	10
指数構築	11
構成銘柄の選択	11
構成銘柄のウェイト付け	11
指数の算出	12
指数の維持	13
リバランス	13
継続的な維持	13
四半期アップデート	13
コーポレート・アクション	14
計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ	14
基準日と過去データ	15
指数データ	16
計算されるリターンのタイプ	16
指数ガバナンス	17
指数委員会	17
指数方針	18
公表	18
プロフォーマ・ファイル	18

	休日のスケジュール	18
	リバランス	18
	予定外の市場の閉鎖	18
	再計算の方針	18
	お問い合わせ先	19
指数の配信		20
	ティッカー	20
	指数データ	21
	ウェブサイト	21
付属資料 I		22
	このメソドロジーの指数では、バックワード・データ・アサンプションを採用しています。	22
	S&P 500 バリュースコア ESG 指数バックワード・データ・アサンプション	22
	バックワード・データ・アサンプションの対象となる指定データセット	22
	欠落しているカバレッジに基づく除外	23
	指定データセット毎の過去のカバレッジ評価	23
付属資料 II		26
	メソドロジーの変更	26
S&P Dow Jones Indices 免責事項		28
	パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ	28
	知的財産権/免責条項	29
	ESG 指数の免責事項	31

はじめに

指数の目的

S&P ESG 指数シリーズは広範な業種をカバーする指数シリーズであり、各指数は原指数の構成銘柄の中で、**適格性基準**に定義されているサステナビリティ基準を満たす証券のパフォーマンスを測定すると同時に、S&P グローバル ESG¹スコアを銘柄選択の決定的な特性として使用し、原指数の産業グループと同様のウェイトを維持するように設計されています。

以下に列挙した指数を除いて、これらの指数は浮動株調整後時価総額(FMC)で加重されます。これらの指数では、企業による特定の事業活動への関与、国連グローバル・コンパクト(UNGC)の原則に対するパフォーマンス、及び関連する ESG 問題の有無などに基づいて銘柄を除外します。

S&P 500 グロース ESG 指数、S&P 500 バリュース ESG 指数、及び S&P 南アフリカ国内株主加重(DSW)キャップド ESG 指数:この指数では、個別企業のウェイトは指数全体の 10%が上限となります。

S&P グローバル ESG スコアに関する詳細については、[ここ](#)を参照ください。

ハイライト

各 S&P ESG 指数は、それぞれの原指数内における世界産業分類基準(GICS®)の各産業グループの FMC の 75%をカバーすることを目標としています。したがって、各指数がその目標を達成した水準に応じて、S&P ESG 指数の産業の特性またはセクターのリスク特性は原指数と似通ったものになる場合があります。

この指数では、S&P グローバル ESG スコアを使用して構成銘柄を選択します。S&P グローバル・サステナブル 1 は、コーポレート・サステナビリティ評価(CSA)を通じて収集したデータに基づき、これらのスコアを算出します。企業の CSA スコアは、企業が提供するデータ、公に入手可能な情報、またはこれら両方を用いて算出されます。

コーポレート・サステナビリティ評価(CSA)を行う上で、企業には S&P グローバル・サステナブル 1 が定義する業種の 1 つが割り当てられ、その業種の CSA 質問票を使用して企業が評価されます。評価は各業種に固有のものになります。S&P グローバル・サステナブル 1 は、世界産業分類基準(GICS)に基づいて業種分類を決定します。産業グループ・レベル及びセクター・レベルでは、S&P グローバル・サステナブル 1 の業種は GICS の標準分類と一致しますが、産業レベルでは、GICS の一部の産業を統合しています。

S&P グローバルの CSA 産業マッピング及び GICS 産業サブグループ・マッピングについては、[ここ](#)を参照ください。

CSA に関する詳しい情報については、<https://www.spglobal.com/esg/csa/>を参照ください。

¹ ESG とは、環境(Environment)、社会(Social)、及びガバナンス(Governance)の頭文字をとったものです。

補足資料

このメソドロジーは、補足資料と併せて読まれることを意図しています。補足資料では、ここに記載されている方針、手順、及び計算に関するより詳しい説明を提供しています。このメソドロジー全体を通して、特定のテーマに関連する補足資料を紹介しており、詳細についてはそちらを参照ください。このメソドロジーの主な補足資料や、それらの資料のハイパーリンクのリストは以下の通りです。

補足資料	URL
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー	株価指数方針及び実務
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー	指数算出メソドロジー
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの浮動株調整メソドロジー	浮動株調整メソドロジー
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの世界産業分類基準 (GICS)メソドロジー	GICS メソドロジー

このメソドロジーは、このメソドロジー資料により管理される各指数に対する投資家の関心を測定するとの上記の目的を達成するために、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)が開発したものです。指数が継続的に目的を達成するように、このメソドロジーに対する変更やこのメソドロジーからの逸脱は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス独自の判断と裁量によって行われます。

適格性基準

指数ユニバース

毎年行われる各リバランス時点において、各指数の指数ユニバースは、原指数の全ての構成銘柄から構成されており、以下のように定義されます。

S&P ESG 指数	原指数
S&P 500 ESG 指数	S&P 500
S&P 中型株 400 ESG 指数	S&P 中型株 400 指数
S&P 小型株 600 ESG 指数	S&P 小型株 600 指数
S&P 欧州 350 ESG 指数	S&P 欧州 350 指数
S&P/ASX 200 ESG 指数	S&P/ASX 200 指数
S&P 日本 500 ESG 指数	S&P 日本 500 指数
S&P グローバル 1200 ESG 指数 ²	S&P グローバル 1200 指数
S&P 米国大中型株 ESG 指数	S&P 米国大中型株指数
S&P カナダ大中型株 ESG 指数	S&P カナダ大中型株指数
S&P 欧州先進国大中型株 ESG 指数	S&P 欧州大中型株指数
S&P 中東及びアフリカ先進国大中型株 ESG 指数	S&P 中東及びアフリカ大中型株指数
S&P アジア太平洋先進国大中型株 ESG 指数	S&P アジア太平洋大中型株指数
S&P 欧州新興国大中型株 ESG 指数	S&P 欧州新興国大中型株指数
S&P ラテンアメリカ新興国大中型株 ESG 指数	S&P ラテンアメリカ大中型株指数
S&P 中東及びアフリカ新興国大中型株 ESG 指数	S&P 中東及びアフリカ新興国大中型株指数
S&P アジア太平洋新興国大中型株 ESG 指数	S&P アジア太平洋新興国大中型株指数
S&P アジア太平洋先進国大中型株 ESG 指数 (除く韓国)	S&P アジア太平洋大中型株指数 (除く韓国)
S&P アジア太平洋新興国プラス大中型株 ESG 指数	S&P アジア太平洋新興国プラス大中型株指数
S&P 韓国大中型株 ESG 指数	S&P 韓国大中型株指数
S&P 南アフリカ国内株主加重 (DSW) キャップド ESG 指数	S&P 南アフリカ国内株主加重 (DSW) キャップド指数
S&P アジア太平洋大中型株 ESG 指数 (除くオーストラリア及びニュージーランド)	アジア太平洋先進国大中型株指数 (除くオーストラリア及びニュージーランド)
S&P 500 グロース ESG 指数	S&P 500 グロース指数
S&P 500 バリュース ESG 指数	S&P 500 バリュース指数

原指数に関する詳しい情報については、それぞれの指数メソドロジー (www.spglobal.com/spdji/) を参照ください。

² S&P グローバル 1200 ESG 指数は、S&P グローバル 1200 指数を構成する 7 つの地域コンポーネント指数を合わせたもので構成されています。

毎年行われる各リバランス時点において、各指数の指数ユニバースは、原指数の全ての構成銘柄から構成されており、以下のように定義されます。

S&P ESG 指数	コンポーネント指数
S&P コンポジット 1500 ESG 指数	S&P 500 ESG 指数 S&P 中型株 400 ESG 指数 S&P 小型株 600 ESG 指数
S&P 北米大中小型株 ESG 指数	S&P 米国大中小型株 ESG 指数 S&P カナダ大中小型株 ESG 指数
S&P 先進国大中小型株 ESG 指数	S&P 欧州先進国大中小型株 ESG 指数 S&P 北米大中小型株 ESG 指数 S&P 中東及びアフリカ先進国大中小型株 ESG 指数 S&P アジア太平洋先進国大中小型株 ESG 指数
S&P 新興国大中小型株 ESG 指数	S&P 欧州新興国大中小型株 ESG 指数 S&P ラテンアメリカ新興国大中小型株 ESG 指数 S&P 中東及びアフリカ新興国大中小型株 ESG 指数 S&P アジア太平洋新興国大中小型株 ESG 指数
S&P グローバル大中小型株 ESG 指数	S&P 欧州先進国大中小型株 ESG 指数 S&P 中東及びアフリカ先進国大中小型株 ESG 指数 S&P 北米大中小型株 ESG 指数 S&P アジア太平洋先進国大中小型株 ESG 指数 S&P 欧州新興国大中小型株 ESG 指数 S&P ラテンアメリカ新興国大中小型株 ESG 指数 S&P 中東及びアフリカ新興国大中小型株 ESG 指数 S&P アジア太平洋新興国大中小型株 ESG 指数
S&P ワールド ESG 指数	S&P 欧州先進国大中小型株 ESG 指数 S&P 北米大中小型株 ESG 指数 S&P 中東及びアフリカ先進国大中小型株 ESG 指数 S&P アジア太平洋先進国大中小型株 ESG 指数 (除く韓国)
S&P 新興国プラス大中小型株 ESG 指数	S&P 欧州新興国大中小型株 ESG 指数 S&P ラテンアメリカ新興国大中小型株 ESG 指数 S&P 中東及びアフリカ新興国大中小型株 ESG 指数 S&P アジア太平洋新興国プラス大中小型株 ESG 指数
S&P グローバル大中小型株 ESG 指数 (除くオーストラリア及びニュージーランド)	S&P 欧州先進国大中小型株 ESG 指数 S&P 中東及びアフリカ先進国大中小型株 ESG 指数 S&P 北米大中小型株 ESG 指数 S&P アジア太平洋先進国大中小型株 ESG 指数 (除くオーストラリア及びニュージーランド) S&P 欧州新興国大中小型株 ESG 指数 S&P ラテンアメリカ新興国大中小型株 ESG 指数 S&P 中東及びアフリカ新興国大中小型株 ESG 指数 S&P アジア太平洋新興国大中小型株 ESG 指数
S&P 先進国大中小型株 ESG 指数 (除く北米及び韓国)	S&P 欧州先進国大中小型株 ESG 指数 S&P 中東及びアフリカ先進国大中小型株 ESG 指数 S&P アジア太平洋先進国大中小型株 ESG 指数 (除く韓国)

コンポーネント指数に関する詳しい情報については、それぞれの指数メソドロジー

(www.spglobal.com/spdj) を参照ください。

複数のシェア・クラス

上場している全ての複数シェア・クラス・ラインは、適格性基準を満たしている限り、指数への採用に適格です。複数シェア・クラスの取り扱いに関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology) の「複数シェ

ア・クラス」セクション内のアプローチ A を参照ください。ある企業における上場している全ての複数シェア・クラス・ラインには同じ S&P グローバル ESG スコアが割り当てられ、このスコアを用いて評価されます。

事業活動に基づく銘柄の除外³

各リバランス参照日において、以下の企業は除外されます。

- カバレッジのない企業
- 以下の特定の事業活動に関与している企業(関与基準の水準で)。全てのカテゴリーに関して、売上高が関与プロキシとして用いられる

S&P グローバルの事業活動の関与	S&P グローバルの関与カテゴリー及び説明	S&P DJI における関与基準の水準	S&P DJI における大量の持分保有の基準
非人道的兵器	特注兵器: この評価では、兵器の部品の製造に関与している企業を対象としている。これらの部品は、対人地雷、生物・化学兵器、目潰し用レーザー兵器、クラスター爆弾、劣化ウラン弾、焼夷兵器、及び核兵器の製造にのみ使用され、その機能には不可欠である	>0%	≥25% ⁴
	関連製品及びサービス: この評価では、対人地雷、生物・化学兵器、目潰し用レーザー兵器、クラスター爆弾、劣化ウラン弾、焼夷兵器、及び核兵器の備蓄、運搬、及び販売など製品及び(または)サービスを供給する企業を対象としている	>0%	≥25%
小型武器	民間用の小型武器の製造: この評価では、民間用の小型武器の製造に関与している企業を対象としている	>0%	≥25%
	非民間用の小型武器の製造: この評価では、非民間用の小型武器の製造に関与している企業を対象としている	>0%	≥25%
	主要な部品の製造: この評価では、対人殺傷用の武器の主要な部品の製造に関与している企業を対象としている	>0%	≥25%
	小型武器の小売及び販売: この評価では、民間の顧客に対して小型武器の小売または販売に関与している企業を対象としている	≥5%	N/A
軍需品供給契約	不可欠な兵器: この評価では、不可欠な兵器の製造、組み立て、販売、及び輸送に関与している企業を対象としている	≥10%	N/A
	兵器関連: この評価では、兵器関連製品の製造及び販売に関与している企業を対象としている	≥10%	N/A
石炭	燃料炭の採取: この評価では、燃料炭の採取に従事している石炭鉱山を保有または運営して企業を対象としている	≥5%	N/A
燃料炭	発電: この評価では、石炭火力発電所を使用する電力に関与している企業を対象としている	≥5%	N/A
オイルサンド	抽出及び(または)生産: この評価では、オイルサンド/タールサンドから化石燃料の抽出及び(または)生産に関与している企業を対象としている	≥5%	N/A
タバコ	製造: この評価では、タバコの製造に関与している企業を対象としている	>0%	≥25%
	関連製品及びサービス: この評価では、タバコ産業にとって必須の製品/サービスを供給している企業を対象としている	≥5%	N/A
	小売及び販売: この評価では、提案の一部としてタバコの小売及び(または)販売に関与している企業を対象としている	≥5%	N/A

³ 2013年3月以前には、S&P 中型株 400 ESG 指数及び S&P 小型株 600 ESG 指数を除く全ての指数において事業活動に基づく銘柄の除外を行う際に、アイリスのデータを使用していました。

⁴ 2019年1月以前において、サステイナリティクスは企業の所有権指標に関するデータを収集していませんでした。したがって、それ以前における指数の履歴は所有権指標の影響を反映していません。2019年1月以降の各リバランスでは、所有権履歴や、関与指標に関するその他のカテゴリーが適用されています。

S&P DJIの関与水準とは、そうした製品への企業の直接的なエクスポージャーを表します。大量の持分所有とは、子会社の特定水準の持分保有を通じた間接的な関与を表します。

S&P グローバル事業関与スクリーン・データセットに関する詳細については、[ここ](#)を参照ください。

国連グローバル・コンパクト(UNGC)に基づく銘柄の除外

サステナリティクスのグローバル・スタンダード・スクリーニング(GSS)は、企業が利害関係者に及ぼす影響を評価するとともに、企業が国際的な規範や基準の違反をどの程度引き起こし、これらの違反にどの程度関与または関連しているかも評価します。GSS 評価では、国連グローバル・コンパクト(UNGC)の原則を基準としています。このスクリーニングでは、関連基準に関する情報も提供され、これには「経済協力開発機構(OECD)多国籍企業ガイドライン」や「国連ビジネスと人権に関する指導原則」に加え、これらの基礎となる協定などが含まれます。サステナリティクスは各企業を次の3つのステータスに分類します。

- **遵守していない**:UNGC の原則や、これに関連する基準、協定、及び条約に従って行動していない企業
- **ウォッチリスト**:「遵守していない」のステータスに関する全ての側面を立証できない、または確認できないため、1つ以上の原則に違反するリスクがある企業
- **遵守している**:UNGC の原則や、これに関連する基準、協定、及び条約に従って行動している企業

各リバランス参照日時点で、以下の企業は除外されます。

- カバレッジのない企業
- 「遵守していない」に分類された企業

アラベスク、アイリス、またはサステナリティクスがカバーしていない企業があったことから、指数算出開始日以前については、S&P 中型株 400 ESG 指数及び S&P 小型株 600 ESG 指数を除いて、いかなる指数に対しても除外を適用していませんでした。

詳しい情報については、<http://www.sustainalytics.com>を参照ください。

論争的となる問題:メディア及び利害関係者分析のオーバーレイ

上記に加え、S&P グローバルは、RepRisk を使用し、指数構成企業に関する「ESG リスクに関する問題や論争的となる活動」のフィルタリング、スクリーニング、及び分析を日々行っています⁵。

リスクが示された場合、S&P グローバルはメディア及び利害関係者分析(MSA)を公表します。これには、経済犯罪や汚職、詐欺、違法な商慣習、人権問題、労働争議、職場安全、壊滅的な事故、及び環境災害などの幅広い問題が含まれます。

指数委員会では、S&P グローバルの MSA により警告が出ている構成銘柄をレビューし、論争的になっている企業の活動が指数の構成に及ぼす潜在的影響を評価します。指数委員会が、問題となっている企業を指数から除外すると決定した場合、その企業は、次のリバランスから少なくとも1年間にわたり再採用される資格がなくなります。

RepRisk に関する詳細については、www.reprisk.com を参照ください。このサービスは、指数構築プロセスに直接貢献しているとは見なされていません。

⁵ RepRisk は ESG データサイエンス会社であり、人工知能(AI)や機械学習を人的情報と組み合わせることで、23 の言語にわたる公の情報を体系的に分析し、重大な ESG リスクを特定します。RepRisk は 100 以上の ESG リスク要因について毎日データを更新し、企業の業務運営、ビジネス関係、及び投資におけるリスク管理や ESG 統合に関する一貫した実用的なデータをタイムリーに提供しています。

S&P グローバル ESG スコアに基づく銘柄の除外

各リバランス参照日時点で、スコアが付与されていない企業は除外されます。

S&P 中型株 400 ESG 指数及び S&P 小型株 600 ESG 指数を除き、企業に付与されている S&P グローバル ESG スコアが、各 GICS 産業グループの ESG スコアの中で下位 25%にランキングされている企業は指数から除外されます。S&P ESG 指数シリーズのグローバル・ユニバースは、リバランス参照日時点における S&P グローバル中大型⁶指数と S&P グローバル 1200 指数の構成銘柄を合わせたものと定義されます。

S&P 中型株 400 ESG 指数及び S&P 小型株 600 ESG 指数: S&P グローバル ESG スコアに基づき、以下のどれかに該当する場合、企業は指数から除外されます。

1. S&P グローバル ESG スコアが、原指数における各 GICS 産業グループの ESG スコアの中で下位 25%に入っている。
2. S&P グローバル ESG スコアが、企業の原指数における ESG スコアの下位 10%に入っている。
3. 上記のステップ 1 及びステップ 2 を経て、全ての除外を適用した後に、指数への採用に適格である原指数のウェイトが 75%未満であった場合、上記のステップの条件は以下のように緩和される:
 - a. S&P グローバル ESG スコアが、原指数における各 GICS 産業グループの ESG スコアの中で下位 20%に入っている。
このように条件を緩和した後、75%の目標値が依然として満たされていない場合、ステップ 1 の条件は以下のようにさらに緩和されます:
 - b. S&P グローバル ESG スコアが、原指数における企業の GICS 産業グループの ESG スコアの中で下位 15%に入っている。

この時点で目標値が依然として満たされていない場合、75%の目標値が達成されていなくても、条件がさらに緩和されることはありません。

S&P コンポジット 1500 ESG 指数: この指数では、S&P 500 ESG 指数、S&P 中型株 400 ESG 指数、及び S&P 小型株 600 ESG 指数の除外基準を組み合わせます。上述の通り、除外基準は各コンポーネント指数レベルで適用されます。

⁶ 中国 A 株を除く

指数構築

構成銘柄の選択

各リバランス時点で、以下の手順に従い、適格ユニバースから指数構成銘柄を選択します：

1. GICS の各産業グループに関して、原指数のユニバースの累積浮動株調整後時価総額(FMC)の 65% に達するまで、S&P グローバル ESG スコアの高い順に企業を選択する。
2. GICS の各産業グループに関して、FMC の 75%目標にできるだけ近づけるため、65%~85%の間にランク付けされた現在の構成銘柄を選択する。
3. 選択された企業の FMC の合計が 75%の FMC 目標を依然として上回らなかった場合、75%の FMC 目標にできるだけ近づけるため、まだ選択されていない適格企業を S&P グローバル ESG スコアの高い順に追加する場合がある。次に S&P グローバル ESG スコアの高い適格企業を追加することにより、GICS の関連産業グループの FMC の合計が 75%の FMC 目標からさらに乖離する場合には、このプロセスを中止する。

構成銘柄のウェイト付け

以下の指数を除き、指数の構成銘柄は浮動株調整後時価総額(FMC)で加重されます。

S&P 南アフリカ国内株主加重(DSW)キャップド ESG 指数:各リバランス時点で、構成銘柄は浮動株調整後時価総額(FMC)で加重され、さらに単一銘柄に対して 10%の上限が適用されます。

S&P 500 グロース ESG 指数及び S&P 500 バリュース ESG 指数:各ウェイト再設定参照日時点で、構成銘柄は最初に浮動株調整後時価総額(FMC)で加重され、次に以下に従って上限が適用されます：

1. ウェイト再設定参照日はリバランス有効日の 7 営業日前である。
2. リバランス参照日に該当するコーポレート・アクションを調整した後の株価や、リバランス有効日時点の構成銘柄、発行済み株式数、及び浮動株修正係数(IWF)を用いて、各社は FMC で加重される。ただし、以下の条件に従う：
3. 企業の FMC ウェイトが 10%を超えた場合、その企業のウェイトには 9%の上限が適用され、1%のバッファが設けられる。このバッファは、ウェイト再設定有効日時点で 10%を超えるウェイトを有する企業の数を抑えることを意図している。
4. 超過ウェイトは全て、指数内で上限に達していない全ての企業に按分して再配分される。
5. この再配分後に、ウェイトが 9%の上限を超える企業が他に存在している場合、9%の上限を超える企業がなくなるまで、このプロセスは反復して繰り返される。
6. ウェイトが 4.8%を超える企業の合計ウェイトは、指数全体のウェイトの 50%を超えることはできない。これらの上限は、バッファを設けるために 5%の制限を下回る水準に設定されている。
7. ステップ 6 のルールに抵触した場合、全ての企業は FMC の大きい順にランク付けされる。50%の制限に抵触した最初の企業のウェイトは 4.5%の上限が適用される。
8. 超過ウェイトは、ウェイトが 4.5%を下回っている全ての企業に按分して再配分され、ステップ 6 が充足されるまで反復して繰り返される。

キャッピング基準に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソ
ロジ（S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology）の「規制上のキャピン
グ要件」セクションを参照ください。

指数の算出

この指数は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの全ての株価指数で使用されている除数メソドロジーを使用して算出されます。

指数算出メソドロジーに関する詳細については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology）」の時価総額加重指数及びキャップド時価総額加重指数のセクションを参照ください。

指数の維持

リバランス

この指数は毎年リバランスされ、4月の最終営業日の取引終了後に有効となります。リバランス参照日は3月の最終取引日となります。この指数の参照ユニバースは、次のリバランス有効日の取引開始時点における原指数またはコンポーネント指数の構成銘柄です。

S&P 南アフリカ国内株主加重(DSW)キャップド ESG 指数:各リバランス時点で、構成銘柄のウェイトは、リバランス有効日の7営業日前の終値を参照価格として用いて計算されます。

S&P 500 グロス ESG 指数、S&P 500 パリ्यू ESG 指数:これらの指数は、4月、7月、10月、及び1月の最終営業日の市場終了後にウェイトが再設定され、ウェイト再設定参照日はリバランス有効日の7営業日前となります。指数の株数は、上記で計算されたウェイトで各構成銘柄に割り当てられます。

キャップド指数に関して、指数の株数はリバランス前の株価に基づいて割り当てられるため、市場の変動により、リバランス時点での各構成銘柄の実際のウェイトは、これらのウェイトとはやや異なります。

適格性に関する四半期レビュー

事業活動:この指数では、継続的な適格性に関して、事業活動への関与基準に基づいて指数構成銘柄をレビューし、不適格な全ての企業を指数から除外し、銘柄の入れ換えは行いません。これは7月、10月、及び1月の最終営業日の取引終了後に有効となります。このレビューの参照日は、前月の最終営業日の取引終了後です。このレビューでは、カバレッジの変更を考慮または含むことはありません。

国連グローバル・コンパクト(UNGC):この指数では、継続的な適格性に関して、UNGC 除外基準に基づいて指数構成銘柄をレビューし、不適格な全ての企業を指数から除外し、銘柄の入れ換えは行いません。これは3月、6月、9月、及び12月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。このレビューの参照日は、前月の最終営業日の取引終了後です。このレビューでは、カバレッジの変更を考慮または含むことはありません。

継続的な維持

指数の構成銘柄は、原指数またはコンポーネント指数から選択されます。株数の変更、浮動株修正係数(IWF)の変更、配当支払、及び価格調整といった指数構成銘柄の具体的な変更は原指数の方針に従います。

この指数は、合併、買収、上場廃止、取引停止、スピンオフ/分割、または破産といったコーポレート・イベントを考慮するために継続的にレビューされます。指数の構成の変更や、それに関連するウェイト調整は、それらが有効になり次第、すぐに行われます。これらの変更は通常、実行日の前に公表されます。

株数のアップデート、浮動株調整、及び浮動株修正係数(IWF)に関する詳細については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー(S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」及び「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの浮動株調整メソドロジー(S&P Dow Jones Indices' Float Adjustment Methodology)」を参照ください。

四半期アップデート

四半期ごとのアップデートの結果、構成銘柄の株数及び浮動株修正係数(IWF)が変更となった場合、3月、6月、9月、及び12月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。追加及び除外

追加: スピンオフの場合を除き、各リバランスの間に銘柄が指数に追加されることはありません。

スピンオフ: スピンオフは、配当権利落ち日の前日の取引終了時にゼロ価格で、親証券が構成銘柄である全ての指数に加えられ(除数の調整は行われず)、少なくとも通常取引の1日後に指数から除外されます(除数の調整が行われる)。

除外: 仮にある銘柄が原指数から除外された場合、その銘柄はそれぞれの指数からも同時に除外されます。各リバランスの間において、合併、買収、上場廃止、取引停止、スピンオフ/分割、または破産といったコーポレート・イベントにより、または四半期ごとの適格性レビューのプロセスの一環として、銘柄が指数から除外されることがあります。

さらに、メディア及び利害関係者分析(MSA)が行われた場合、指数委員会の裁量で銘柄が指数から除外される場合もあります。

コーポレート・アクション

コーポレート・アクションに関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー(S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)内の時価総額指数セクションを参照ください。

計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ

この指数は米ドルで算出します。地域指数についてはそれぞれの現地通貨で算出されます。

ロンドン時間午後4時のWMR外国為替レートが日次で取得され、S&P/ASX 200 ESG指数(オーストラリアドル建て)及びS&P 韓国大中型株 ESG 指数(韓国ウォン建て)を除く全ての指数の1日の終了時の算出に用いられます。これら場中の確定は、LSEGのデータに基づいてWMRが計算し、LSEGのページに表示されます。

S&P/ASX 200 ESG 指数(オーストラリアドル建て)及びS&P 韓国大中型株 ESG 指数(韓国ウォン建て)については、LSEGが提供するシドニー時間午後4時17分時点のスポット為替レートに基づいて指数の終値が算出されます。

このメソドロジーに詳述されている指数に加え、指数の追加リターン・シリーズ・バージョンが利用可能な場合があります。利用可能な追加バージョンには、通貨、通貨ヘッジ、減衰、公正価値、インバース、レバレッジド、及びリスク・コントロールなどのバージョンが含まれます(ただし、これらに限定されない)。利用可能な指数のリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

様々な指数の計算に関する情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー(S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)を参照ください。

特定の指数タイプ(減衰指数、ダイナミック・ヘッジ指数、公正価値指数、及びリスク・コントロール指数など)を計算するために必要なインプットについては、www.spglobal.com/spdji で入手可能なパラメータ資料を参照ください。

基準日と過去データ

指数の過去履歴の利用可能性や、基準日、基準価値については以下の表に示されています。

指数	算出開始日	初回評価日	基準日	基準値
S&P 500 ESG 指数	01/28/2019	04/29/2005	04/30/2010	100
S&P 欧州 350 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P/ASX 200 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P/ASX 200 ESG 指数(オーストラリアドル建て)	07/06/2020	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 日本 500 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P グローバル 1200 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 米国大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P カナダ 大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 北米大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 欧州先進国大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 中東及びアフリカ先進国大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P アジア太平洋先進国大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 先進国大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 欧州新興国大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P ラテンアメリカ新興国大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 中東及びアフリカ新興国大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P アジア太平洋新興国大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 新興国大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P グローバル大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P アジア太平洋先進国 ESG 指数(除く韓国)	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P アジア太平洋新興国プラス大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P ワールド ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 新興国プラス大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 韓国大中型株 ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 韓国大中型株 ESG 指数(韓国ウォン建て)	05/11/2021	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 南アフリカ国内株主加重(DSW)キャップド ESG 指数	05/06/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 先進国大中型株 ESG 指数(除く北米及び韓国)	06/24/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P グローバル大中型株 ESG 指数(除くオーストラリア及びニュージーランド)	09/30/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P アジア太平洋先進国大中型株 ESG 指数(除くオーストラリア及びニュージーランド)	09/30/2019	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 中型株 400 ESG 指数	01/11/2021	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 小型株 600 ESG 指数	01/11/2021	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P コンポジット 1500 ESG 指数	01/11/2021	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 500 グロース ESG 指数	08/29/2022	04/30/2010	04/30/2010	100
S&P 500 バリュース ESG 指数	08/29/2022	04/30/2010	04/30/2010	100

指数データ

計算されるリターンのタイプ

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは、定期的な現金配当の取り扱いが異なる複数のリターン・タイプの指数を計算しています。定期的な現金配当の分類は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが決定します。

- 価格リターン(PR)バージョンは、定期的な現金配当の調整を行わずに計算される。
- グロス・トータル・リターン(TR)バージョンは、源泉税を考慮せずに、配当落ち日の取引終了時点で定期的な現金配当を再投資する。
- ネット・トータル・リターン(NTR)バージョンは、可能な場合、源泉税を控除した後に配当落ち日の取引終了時点で定期的な現金配当を再投資する。

配当落ち日に定期的な現金配当がない場合、3つの指数の日々のパフォーマンスは同一となります。

指数の詳細なリストについては、日々の指数水準ファイル(以下、「.SDL」という)を参照ください。

定期的な現金配当と特別現金配当の分類や、ネット・リターンの計算で使用される税率に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「株価指数方針及び実務(S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Procedures)」メソドロジーを参照ください。

リターン・タイプの計算に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「指数算出メソドロジー(S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)」を参照ください。

指数ガバナンス

指数委員会

指数委員会がこの指数を管理しています。同委員会は定期的にミーティングを開催します。各ミーティングで、指数委員会は指数構成銘柄に影響を及ぼす可能性のある保留中のコーポレート・アクション、指数構成を市場と比較する統計、指数に追加する候補銘柄として考えられている企業、市場における重大な事象などを検討します。また、指数委員会は、銘柄選択のルール、配当の取り扱い、株式数、またはその他の事項をカバーする指数方針を改正することもあります。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、株価指数やその関連事項の変更についての情報が市場を動かし、重大なものになる可能性があると考えています。したがって、指数委員会の協議内容は全て機密情報となっています。

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会は、必要があれば、メソドロジーを適用する際に例外を設ける権利を留保します。本資料や補足資料に記載されている一般的なルールと異なる取り扱いを行う場合、お客様は可能なときはいつでも十分な通知を受け取ります。

指数の日々のガバナンスや指数メソドロジーの維持に加え、指数委員会は12ヶ月間に少なくとも1回、メソドロジーをレビューすることで、記載されている目標を指数が引き続き達成し、データやメソドロジーが依然として有効であることを確保します。場合によって、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスはコンサルテーションを行い、外部関係者からのコメントを要請することがあります。

メソドロジーの品質保証と内部調査に関する詳細については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

指数方針

公表

全ての指数構成銘柄は、指数の水準やリターン計算に必要なデータのために毎日評価されます。毎日の指数算出に影響を与える全てのイベントは通常、「指数コーポレート・イベント・レポート(.SDE)」を通じて事前に公表され、全ての顧客に発信されます。また、コーポレート・アクションに対する通常と異なる取り扱いや、イベントに関する緊急連絡については、必要に応じて電子メールで顧客に送達されます。

プレスリリースは当社のウェブサイト www.spglobal.com/spdji/に掲載されるとともに、主要なニュース・サービスにも公開されます。

プロフォーマ・ファイル

コーポレート・イベント・レポート(.SDE)に加えて、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスは、各指数のリバランスが行われるごとに、構成銘柄のプロフォーマ(事前予想)・ファイルを提供します。プロフォーマ・ファイルは通常、リバランス日の前に日々提供され、その中には、リバランスにおいて有効となる全ての構成銘柄やそのウェイト及び指数組入株式数が収録されています。

リバランスの予定やプロフォーマの提供予定など正確なスケジュールについては、www.spglobal.com/spdji/をご覧ください。

休日のスケジュール

S&P ESG 指数は、指数構成銘柄が上場している取引所の全てが正式に休業している日、またはWMRの為替レートサービスが公表されていない場合を除き、暦年を通じて毎日計算されます。

年間の休日スケジュールについては、弊社ウェブサイト www.spglobal.com/spdji/を参照ください。

リバランス

指数委員会は、予定されたリバランス日やその前後に生じる市場の休日などの理由により所定のリバランス日を変更する場合があります。かかる変更は、可能であれば適切な事前通知を以て発表されます。

予定外の市場の閉鎖

予定外の市場の閉鎖に関する情報については、「S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー(S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

再計算の方針

再計算の方針に関する情報については、「S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー(S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

計算及びプライシングの中断、専門家の判断、データ階層に関する情報については、「S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー(S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

お問い合わせ先

指数に関するご質問については、index_services@spglobal.comにお問い合わせください。

指数の配信

指数水準については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト www.spglobal.com/spdji/や、主要な情報ベンダー（以下のコードを参照ください）、投資関連のウェブサイト、活字及び電子メディアなどをご覧ください。

ティッカー

以下の表では、この資料でカバーしているヘッドライン指数についてまとめています。以下の指数の全てのバージョンも、本資料でカバーしています。本資料でカバーしている指数の完全なリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

指数	リターン・タイプ	ブルームバーク
S&P 500 ESG 指数(米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPXESUP SPXESUT SPXESUN
S&P 中型株 400 ESG 指数(米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPMESUP SPMESUT SPMESUN
S&P 小型株 600 ESG 指数(米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPSESUP SPSESUT SPSESUN
S&P コンポジット 1500 ESG 指数(米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPRESUP SPRESUT SPRESUN
S&P 欧州 350 ESG 指数(米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPEESUP SPEESUT SPEESUN
S&P/ASX 200 ESG 指数(米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPAESGUP SPAESGUT SPAESGUN
S&P ASX 200 ESG 指数(オーストラリアドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPAESAAP SPAESAAT SPAESAN
S&P 日本 500 ESG 指数(米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPJESGUP SPJESGUT SPJESGUN
S&P グローバル 1200 ESG 指数(米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPGESUP SPGESUT SPGESUN
S&P 米国大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPUSLMUT
S&P カナダ大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPCALMUT
S&P 北米 大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPNALMUT
S&P 欧州先進国 大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPEDLMUT
S&P 中東及びアフリカ先進国大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPMADLUT
S&P アジア太平洋先進国大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPAPDLUT
S&P 先進国大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPDLMUT
S&P 欧州新興国 大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPEELMUT
S&P ラテンアメリカ新興国大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPLAELUT
S&P 中東及びアフリカ新興国大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPMAELUT
S&P アジア太平洋新興国大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPAPELUT
S&P 新興国大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPELMUT
S&P グローバル大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPLESGUT
S&P アジア太平洋先進国 ESG 指数(米ドル建て、除く韓国)	トータル・リターン	SPAD XKUT
S&P アジア太平洋新興国プラス大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPAEP LUT

指数	リターン・タイプ	ブルームバーク
S&P ワールド ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPDXKLUT
S&P 新興国プラス大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPEMPLUT
S&P 韓国大中型株 ESG 指数(米ドル建て)	トータル・リターン	SPKLEUT
S&P 韓国大中型株 ESG 指数(韓国ウォン建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPKLEWKP SPKLEWKT SPKLEWKN
S&P 南アフリカ国内株主加重(DSW)キャップド ESG 指数(南アフリカランド建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPSAECZP SPSAECZT SPSAECZN
S&P 先進国大中型株 ESG 指数(米ドル建て、除く北米及び韓国)(米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPDNKLUP SPDNKLUT SPDNKLUN
S&P グローバル大中型株 ESG 指数(米ドル建て、除くオーストラリア及びニュージーランド)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPGEAEUP SPGEAEUT SPGEAEAN
S&P アジア太平洋先進国大中型株 ESG 指数(米ドル建て、除くオーストラリア及びニュージーランド)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPAEXEAP SPAEXEAT SPAEXEAN
S&P 500 グロース ESG 指数(米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPGESUP SPGESUT SPGESUN
S&P 500 バリュース ESG 指数(米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPVESUP SPVESUT SPVESUN

指数データ

日々の構成銘柄及び指数レベルのデータについては、申し込みにより取得可能です。

商品情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト内「お問い合わせ」(www.spglobal.com/spdji/en/contact-us)よりお問い合わせください。

ウェブサイト

詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト(www.spglobal.com/spdji/)を参照ください。

付属資料 I

このメソドロジーの指数では、バックワード・データ・アサンプションを採用しています。

S&P 500 ESG 指数

S&P 中型株 400 ESG 指数

S&P 小型株 600 ESG 指数

S&P 500 グロース ESG 指数

S&P 500 バリュース ESG 指数バックワード・データ・アサンプション

ライブ・データ有効日(以下に定義)以前の過去の指数構成銘柄を導き出す際に使用される一部のデータポイントに関して、この指数では「バックワード・データ・アサンプション」手法を採用しています。「バックワード・データ・アサンプション」手法とは、指数構成銘柄に関して入手可能な最も古いライブデータ・ポイントを、指数ユニバースにおける当該構成銘柄の過去の全ての事例に適用するものです。

バックワード・データ・アサンプションは、指数のバックテストにおける仮説に基づく過去の構成銘柄だけに影響を及ぼします。実際に行われる指数のリバランス、及びライブ・データ有効日後における指数の過去のリバランス計算については、実際のライブ・データだけが使用されます。

バックワード・データ・アサンプションの使用に関する S&P DJI の原則及びプロセスの詳細については、[FAQ](#) を参照ください。

バックワード・データ・アサンプションの対象となる指定データセット

上記の指数に関する過去のバックテスト内のバックワード・データ・アサンプションは、以下に定義される指定データセット及び関連する時間軸だけに適用されます。各指定データセットに関して、以下に示すライブ・データの参照日以前における全ての過去のリバランス・イベントが、バックワード・データ・アサンプションの使用の対象になります。

データ・プロバイダー	指定データセット	ライブ・データ参照日	ライブ・データ有効日	関連指数
S&P DJI	S&P DJI ESG スコア	03/31/2020	05/01/2020	S&P 中型株 400 ESG 及び S&P 小型株 600 ESG
S&P DJI	S&P DJI ESG スコア	03/31/2020	05/03/2020	S&P 500 ESG
サステナリティクス	事業活動に基づく除外	03/31/2020	05/01/2020	S&P 中型株 400 ESG、S&P 小型株 600 ESG、S&P 500 グロース ESG、及び S&P 500 バリュース ESG
アラベスク	GC スコア	03/31/2020	05/01/2020	S&P 中型株 400 ESG 及び S&P 小型株 600 ESG
アイリス	事業活動に基づく除外	03/31/2010	05/03/2010	S&P 500 ESG
アラベスク	GC スコア	03/31/2010	05/03/2010	S&P 500 ESG

ライブ・データ参照日とは、実際のライブ・データだけが使用される最初のリバランス参照日を指しています。

ライブ・データ有効日とは、それぞれのデータセットの実際のライブ・データだけに基づいて、指数構成銘柄が決定される最初の日を指しています。

欠落しているカバレッジに基づく除外

この指数は、上記の指定データセットに関して欠落しているカバレッジに基づいて企業を除外します。ただし、それぞれのライブ・データ参照日以前のリバランス日については、バックワード・データ・アサンプションを適用した後のカバレッジに基づいて企業の適格性を判断しており、実際のライブ・データのカバレッジによって決まるわけではありません。

指定データセット毎の過去のカバレッジ評価

S&P DJI ESG スコア・カバレッジ(原指数ユニバースに関する)：

S&P 500 ESG

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンプションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
2005	500	0	0%	358	85.9%
2006	500	0	0%	371	87.1%
2007	500	0	0%	399	90.7%
2008	500	0	0%	422	95.0%
2009	500	0	0%	458	98.3%

S&P 400 ESG

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンプションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
2010	400	141	47.6%	319	85.2%
2011	400	95	34.2%	329	87.2%
2012	400	117	38.6%	335	88.7%
2013	400	151	49.3%	339	90.0%
2014	400	149	45.0%	346	90.2%
2015	400	108	37.1%	355	91.7%
2016	400	156	47.7%	366	93.9%
2017	400	129	42.2%	365	93.1%
2018	400	193	59.3%	380	95.9%
2019	400	183	53.5%	394	98.9%
2020	400	399	99.9%	n/a	n/a

S&P 600 ESG

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンプションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
2010	600	16	5.7%	381	72.1%
2011	600	5	1.5%	394	72.6%
2012	600	16	5.0%	415	76.8%
2013	600	37	11.3%	431	79.5%
2014	600	46	11.7%	448	80.7%
2015	600	7	1.4%	462	83.7%
2016	601	41	11.4%	490	86.8%
2017	601	41	9.8%	526	92.0%
2018	601	130	26.1%	559	95.6%
2019	601	96	24.7%	586	97.6%
2020	601	598	99.8%	n/a	n/a

アラベスクの国連グローバル・コンパクト(UNGC)カバレッジ(原指数ユニバースに関する):

S&P 400 ESG

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンプションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
2010	400	289	83.7%	362	93.8%
2011	400	309	87.7%	376	96.9%
2012	400	308	85.4%	382	97.3%
2013	400	306	83.9%	385	97.2%
2014	400	296	79.8%	386	96.9%
2015	400	278	73.9%	388	96.8%
2016	400	378	95.5%	396	99.2%
2017	400	388	96.6%	398	99.3%
2018	400	395	98.9%	399	99.8%
2019	400	392	98.3%	395	98.9%
2020	400	391	98.2%	n/a	n/a

S&P 600 ESG

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンプションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
2010	600	21	7.8%	393	73.7%
2011	600	20	7.5%	411	74.5%
2012	600	16	4.2%	431	76.6%
2013	600	15	3.6%	455	82.0%
2014	600	20	3.3%	483	86.7%
2015	600	26	4.2%	507	91.4%
2016	601	258	62.1%	536	94.4%
2017	601	344	77.9%	563	97.5%
2018	601	575	97.4%	582	97.9%
2019	601	575	97.7%	583	98.5%
2020	601	579	97.4%	n/a	n/a

サステナビリティの「事業活動に基づく除外」カバレッジ(原指数ユニバースに関する):

S&P 400 ESG

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンプションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
2010	400	0	0%	369	94.9%
2011	400	0	0%	379	96.7%
2012	400	0	0%	382	96.7%
2013	400	298	82.0%	387	97.5%
2014	400	290	78.2%	391	97.8%
2015	400	390	97.6%	394	98.5%
2016	400	399	99.5%	399	99.5%
2017	400	400	100%	400	100%
2018	400	400	100%	400	100%
2019	400	400	100%	400	100%
2020	400	400	100%	n/a	n/a

S&P 600 ESG

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンプションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
2010	600	0	0%	459	80.6%
2011	600	0	0%	481	82.4%
2012	600	0	0%	509	86.3%
2013	600	26	5.9%	528	90.0%
2014	600	34	6.8%	552	93.4%
2015	600	569	96.1%	578	97.1%
2016	601	598	100%	601	100%
2017	601	601	100%	601	100%
2018	601	601	100%	601	100%
2019	601	601	100%	601	100%
2020	601	601	100%	n/a	n/a

S&P 500 グロース ESG

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンプションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
2010	307	0	0.0%	305	99.8%
2011	327	0	0.0%	326	99.9%
2012	279	0	0.0%	279	100%
2013	292	291	99.9%	292	100%
2014	340	334	99.0%	340	100%
2015	325	323	99.6%	325	100%
2016	317	317	100%	317	100%
2017	323	323	100%	323	100%
2018	294	294	100%	294	100%
2019	295	293	99.9%	295	100%
2020	273	271	99.8%	n/a	n/a

S&P 500 バリュース ESG

リバランス日	原指数の銘柄数	ポイントインタイム・データ		データ・アサンプションの使用後	
		銘柄数	指数ウェイト	銘柄数	指数ウェイト
2010	348	0	0.0%	348	100%
2011	339	0	0.0%	339	100%
2012	368	0	0.0%	368	100%
2013	357	352	98.9%	357	100%
2014	339	335	99.7%	339	100%
2015	361	357	99.1%	361	100%
2016	364	362	99.7%	364	100%
2017	352	351	99.9%	352	100%
2018	389	387	99.9%	389	100%
2019	383	379	99.5%	383	100%
2020	395	393	99.8%	n/a	n/a

各サブ・データセットのカバレッジの開始により、サステナリティクスの各関与カテゴリーのカバレッジは異なる場合があります。したがって、以下に示されているそれぞれのカバレッジ開始日以前には、各サブ・データセットの実際のライブ・データ・カバレッジはゼロとなります：

サステナリティクスの関与カテゴリー	カバレッジ開始日
非人道的兵器: 特注及び不可欠	12/31/2012
非人道的兵器: 大量の持分保有 (特注及び不可欠)	12/31/2018
燃料炭: 採取	12/31/2015
非人道的兵器: 特注ではない、または不可欠ではない	12/31/2012
非人道的兵器: 大量の持分保有 (特注ではない、かつ不可欠ではない)	12/31/2018
燃料炭: 発電	12/31/2015
タバコ: 製造	12/31/2012
タバコ: 関連製品/サービス	12/31/2012
タバコ: 小売	12/31/2012
タバコ: 大量の持分保有 (製造)	12/31/2018
タバコ: 大量の持分保有 (関連製品/サービス)	12/31/2018
タバコ: 大量の持分保有 (小売)	12/31/2018
オイルサンド: 採取	12/31/2016
小型武器: 民間の顧客 (対人殺傷用の武器)	12/31/2012
小型武器: 大量の持分保有 (民間の顧客 (対人殺傷用の武器))	12/31/2018
小型武器: 民間の顧客 (対人殺傷用以外の武器)	12/31/2018
小型武器: 大量の持分保有 (民間の顧客 (対人殺傷用以外の武器))	12/31/2018
小型武器: 軍隊/法務執行機関の顧客	12/31/2015
小型武器: 大量の持分保有 (軍隊/法務執行機関の顧客)	12/31/2018
小型武器: 主要な部品	12/31/2015
小型武器: 大量の持分保有 (主要な部品)	12/31/2018
小型武器: 小売/販売 (対人殺傷用の武器)	12/31/2013
小型武器: 小売/販売 (対人殺傷用以外の武器)	12/31/2018
軍需品供給契約: 兵器	12/31/2012
軍需品供給契約: 兵器関連の製品及び (または) サービス	12/31/2012

付属資料 II

メソドロジーの変更

2019年1月28日以降のメソドロジーの変更は以下の通りです：

変更	有効日		メソドロジー	
	(市場終了後に有効)	変更前	変更後	
事業活動に基づく除外 データ・プロバイダー	2024年4月30日	サステナリティクスは、事業活動に基づく除外に関するデータを提供します。	S&P グローバルは、事業活動に基づく除外に関するデータを提供します。	
ESG スコア・データ	2024年4月30日	この指数では、構成銘柄選択プロセスの一環として S&P DJI ESG スコアを使用します。	この指数では、構成銘柄選択プロセスの一環として S&P グローバル ESG スコアを使用します。	
国連グローバル・コンパクト (UNGC) に基づく適格性に関する四半期レビュー	2024年4月30日	国連グローバル・コンパクト (UNGC) の除外基準に基づき継続的な適格性に関して、指数構成銘柄を四半期ごとにレビューします。不適格であると見なされた企業は指数から除外され、これは7月、10月、及び1月の最終営業日の取引終了後に有効となります。このレビューの参照日は、前月の最終営業日です。	この指数では、継続的な適格性に関して、UNGC 除外基準に基づいて指数構成銘柄をレビューし、不適格な全ての企業を指数から除外し、銘柄の入れ換えは行いません。これは3月、6月、9月、及び12月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。このレビューの参照日は、前月の最終営業日の取引終了後です。このレビューでは、カバレッジの変更を考慮または含むことはありません。	
指数の名称 S&P ワールド指数	2024年2月26日	指数の名称は、S&P 先進国 BMI 大中型株 ESG 指数 (除韓国) です。	指数の名称は、S&P ワールド ESG 指数です。	
国連グローバル・コンパクト (UNGC) に基づく除外 データ・プロバイダーの変更	2022年4月29日	グローバル・アラベスク S-Ray™ ユニバーズは、GC スコアに基づいてランク付けされます。GC スコア・ユニバーズにおいて、3月の最終営業日の参照日時点でスコアが下位5%に入っている企業は不適格となります。	サステナリティクスのグローバル・スタンダード・スクリーニング (GSS) に従って、「遵守していない」と分類された企業は、指数への採用に不適格となります。	
事業活動に基づく除外 新たな除外基準と、修正された除外基準	2022年4月29日	<ul style="list-style-type: none"> • オイルサンド、小型武器、または軍需品供給契約に関与している企業については、除外が適用されていなかった。 • 非人道的兵器については、特注ではない、または不可欠ではない兵器に関与している企業には除外が適用されていなかった。 • タバコの製品については、関連製品/サービスを供給している企業や、関与基準の水準が10%以上及び大量の持分保有基準の水準が25%以上の小売企業には除外が適用されていた。 	<ul style="list-style-type: none"> • 関与基準の水準が5%以上でオイルサンド採取に関与している企業、小型武器については、民間の顧客 (対人殺傷用の武器)、民間の顧客 (対人殺傷用以外の武器)、軍隊/法務執行機関の顧客、及び関与基準の水準が0%を超える、また大量の持分保有基準の水準が25%以上で主要部品を製造・販売している企業、関与基準の水準が5%以上で小売/販売 (対人殺傷用の武器) や小売/販売 (対人殺傷用以外の武器)、軍需品供給契約については、関与基準の水準が10%以上で兵器や兵器関連の製品及びサービスを供給している企業には除外が適用される。 • 非人道的兵器については、関与基準の水準が0%を超える、また大量の持分保有基準の水準が25%以上で特注ではない、または不可欠ではない兵器に関与している企業には除外が適用される。 	

変更	有効日		メソドロジー
	(市場終了後に有効)	変更前	
			<ul style="list-style-type: none"> タバコ製品については、関与基準の水準が5%以上で、また大量の持分保有基準に該当していない、関連製品/サービス及び小売に関与している企業には除外が適用される。
適格性に関する 四半期レビュー	2022年4月29日	--	<p>特定の事業活動への関与や国連グローバル・コンパクト(UNGC)の除外基準に基づく継続的な適格性に関して、指数構成銘柄を四半期ごとにレビューします。不適格であると見なされた企業は指数から除外され、これは7月、10月、及び1月の最終営業日の取引終了後に有効となります。このレビューの参照日は、前月の最終営業日です。除外が実施された場合、その結果として、指数に構成銘柄が追加されることはありません。</p>
燃料炭に関連している企業に関する 指数の適格性	2020年9月18日 ⁷	--	<p>企業は燃料炭からの売上高が全体の5%未満である必要があります。</p>

⁷ この変更は特別のリバランスを通じて実施され、2020年9月18日の市場終了後に有効となりました。

S&P Dow Jones Indices 免責事項

パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ

S&P Dow Jones Indices は、透明性を提供することにより顧客を支援するために、様々な日付を定義しています。初回評価日は、所定の指数の（現実またはバックテストの）計算値が存在する最初の日です。基準日とは、所定の指数が計算のために固定値で設定されている日付を指します。ローンチ日とは、所定の指数の価値が最初に現実と見なされる日付を指します。指数のローンチ日より前の任意の日付または期間に提供された指数値は、バックテストされたものと見なされます。S&P Dow Jones Indices では、ローンチ日につき、例えば S&P Dow Jones Indices の公開ウェブサイトまたは外部当事者に対するそのデータフィードを介して、指数の価値が一般公表されたことが知られる日付と定義しています。2013年5月31日より前に導入された Dow Jones ブランドの指数については、ローンチ日（2013年5月31日より前は「導入日」と呼ばれていた）は、指数の一般公表日より前には認められていた可能性があるものの、指数メソドロジーに対するそれ以上の変更が認められなくなった日に設定されています。

指数のリバランスの方法とタイミング、追加および削除の基準、ならびにすべての指数計算など、指数の詳細については、当該指数のメソドロジーを参照してください。

指数のローンチ日より前に提示された情報はすべて、仮説に基づくバックテストされたものであって、実際のパフォーマンスではありません。バックテスト計算は、指数のローンチ日に有効だったメソドロジーと同じ方法に基づいています。ただし、市場が異常を示した期間など、全体的な最新市場環境を反映していない期間を対象に、バックテストされた履歴を作成する場合には、十分に大きな同じ性質の証券を把握するために、指数メソドロジールールを緩和してもかまいません。それにより、その指数で測定することを意図した対象市場、またはその指数で把握することを意図した戦略のシミュレーションを行うことができます。例えば、市場時価総額と流動性の限界を引き下げることができます。さらに、S&P 暗号通貨指数のバックテスト・データに関しては、フォーク（ブロックチェーンの分岐）の影響が考慮されていません。S&P 暗号通貨トップ 5 イコール・ウェイト指数及び S&P 暗号通貨トップ 10 イコール・ウェイト指数については、メソドロジーのカストディ要素が考慮されておらず、バックテストの過去履歴は、ローンチ日時点においてカストディ要素の要件を満たす指数構成銘柄に基づいています。また、指数管理の決定を正確に複製することは困難であるため、バックテストされたパフォーマンスにおけるコーポレート・アクションの取り扱い、実在する指数に対するコーポレート・アクションの取り扱いと異なる場合があります。バックテストされたパフォーマンスは、指数のメソドロジーに加えて、事後的な情報やパフォーマンスによる影響を与えた可能性がある要因についての知識に基づく構成銘柄の選定を反映したものであり、結果に影響を及ぼしうるすべての財務リスクを考慮したのではなく、生存者バイアス／先読みバイアスが含まれていると見なすことも可能です。実際のリターンは、バックテストされたリターンとは大きく異なり、これよりも少ないものとなる場合があります。過去のパフォーマンスは将来の成績を示唆または保証するものではありません。

一般に S&P DJI では、バックテストされた指数データを作成する際に、構成銘柄の実際の過去データ（過去の株価、時価総額、および企業活動に関するデータ等）を使用します。ESG 投資はまだ開発の初期段階にあるため、S&P DJI の ESG 関連インデックスを作成するために使用される一部のデータポイントは、過去のデータをバックテストしたい対象期間全体にわたって入手できない場合があります。データの利用可能性に関するこの問題は、他の指数にも当てはまります。対象となるすべての過去の期間に対して実際のデータが入手できない場合、S&P DJI では、ESG データの「データ遡及想定」（または、引き戻し）と呼ばれるプロセスを通じて、バックテストされた過去のパフォーマンスを算定する場合があります。「データ遡及想定」とは、当該指数の構成銘柄につき、指数のパフォーマンスを算定するために用いる過去のデータすべてに、入手可能な実際のデータポイントのうち最も過去のものを適用するプロセスを指します。例えばデータ遡及想定では、その前提として、特定の業務活動（「製品関与」と呼ぶ場合もある）を現在行っていない企業は過去においてもかかる業務活動を行ったことがないと想定し、同様に、現在特定の業務活動を行っている企業は過去においてもかかる活動を行っていたと想定します。デ

一タ遡及想定は、実際のデータのみを使用する場合よりも長期にわたる過去の期間を対象として、仮説的なバックテストを可能にするものです。「データ遡及想定」について詳しく知りたい場合は、[FAQ](#)をご覧ください。バックテストされた過去のパフォーマンスにつき、データ遡及想定を採用している指数では、そのメソドロジーおよびファクトシートにおいてその旨を明記します。かかるメソドロジーには、遡及的にデータが適用された箇所における具体的なデータポイントおよび当該の時期を示す表が記載された別紙が含まれます。

表示される指数の収益率は、投資資産／証券の実際の取引結果を表しません。S&P Dow Jones Indices は、指数を維持し、提示または議論された指数のレベルとパフォーマンスを算出しますが、実際の資産を管理してはいません。指数の収益率は、指数のパフォーマンスを追跡するよう意図された、指数または投資ファンドの基礎となる、投資家が証券を購入するために支払う販売手数料や料金の支払いを反映していません。これらの料金や手数料が課されることで、証券／ファンドの実際およびバックテストのパフォーマンスは、提示される指数パフォーマンスよりも低くなる可能性があります。簡単な例としては、10 万米ドルの投資に指数が 12 ヶ月間に 10% の収益率（つまり 1 万米ドル）を上げ、投資に経過利息を加えた金額に 1.5% の実際の資産ベースの手数料（つまり 1,650 米ドル）が課されると、1 年間の純収益率は 8.35%（つまり 8,350 米ドル）になります。3 年間にわたり、年 10% の収益率で、年末に年 1.5% の手数料を徴収されると想定すると、結果的に累積総収益率は 33.10%、合計手数料は 5,375 米ドル、および累積純収益率は 27.2%（つまり 2 万 7,200 米ドル）になります。

知的財産権/免責条項

© 2024 S&P Dow Jones Indices. 無断複写・転載を禁じます。S&P、S&P 500、S&P 500 LOW VOLATILITY INDEX、S&P 100、S&P COMPOSITE 1500、S&P 400、S&P MIDCAP 400、S&P 600、S&P SMALLCAP 600、S&P GIVI、GLOBAL TITANS、DIVIDEND ARISTOCRATS、S&P TARGET DATE INDICES、S&P PRISM、S&P STRIDE、GICS、SPIVA、SPDRおよびINDEXOLOGYは、S&P Global, Inc.（以下、「S&P Global」という）またはその関係会社の登録商標です。DOW JONES、DJ、DJIA、THE DOW、およびDOW JONES INDUSTRIAL AVERAGEは、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの登録商標は、その他と一緒にS&P Dow Jones Indices LLCにライセンス供与されています。再配布または複製は、全部か一部かを問わず、S&P Dow Jones Indices LLCの書面による許可がない限り禁止されています。本文書は、S&P Dow Jones Indices LLC、S&P Global、Dow Jonesまたはそれらの各関連会社（総称して「S&P Dow Jones Indices」）が必要なライセンスを持たない法域でサービスを提供するものではありません。特定のカスタム指数計算サービスを除き、S&P Dow Jones Indicesが提供するすべての情報は個人とは無関係なものであり、いかなる個人、事業体または団体のニーズに合わせて調整されたものではありません。S&P Dow Jones Indicesは、第三者にその指数をライセンス供与すること、およびカスタム計算サービスを提供することに関連して報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは、将来の成績を示唆または保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表す資産クラスへのエクスポージャーは、その指数に基づく投資可能な商品を通して利用できる場合があります。S&P Dow Jones Indices は、第三者が提供する、また指数のパフォーマンスに基づく投資収益を提供しようとするいかなる投資ファンドまたはその他の投資手段についても、スポンサー、保証、販売、販売促進または管理を行いません。S&P Dow Jones Indices は、指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追跡する、またはプラスの投資収益率を提供することを保証しません。S&P Dow Jones Indices LLC は投資顧問会社ではなく、また S&P Dow Jones Indices はかかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資の妥当性に関して一切表明することはありません。かかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資決定は、本文書に記載される意見に頼って行われるべきではありません。見込み投資家は、投資ファンドの発行体またはその他の投資商品や手段により、またはそれらを代表して作成されている提供される覚書や類似の文書で詳述される通り、かかるファンドへの投資に伴うリスクを慎重に考慮した後に限り、かかるファンドやその他の手段へ投資することが推奨されます。S&P Dow Jones Indices LLC は税金の顧問会社ではありません。免税証券のポートフォリオへの影響や特定の投資決断の税効果の評価は、税務顧問会社に相談してください。指数に証券が含まれることは、S&P Dow Jones Indices がかかる証券の売り、買い、またはホールドの推奨を意味するものではなく、投資アドバイスとして見なしてはなりません。

これらの資料は、一般的に公衆が利用可能な信頼できると確信される情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されています。これらの資料に記載される内容(指数データ、格付け、信用関連の分析やデータ、リサーチ、評価、モデル、ソフトウェアやその他のアプリケーションまたはそれからのアウトプット)またはそのいかなる部分(「内容」)も、S&P Dow Jones Indicesによる事前の書面による承認なく、いかなる形式やいかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、複製または配布、もしくはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容は、違法または未許可の目的で使用してはなりません。S&P Dow Jones Indicesおよびその第三者データ・プロバイダーならびにライセンサー(総称して「S&P Dow Jones Indices当事者」)は、内容の正確性、完全性、適時性または利用可能性について保証しません。S&P Dow Jones Indices当事者は、理由に関係なく、内容の利用から得られた結果について、いかなる過誤または遺漏に対しても責任を負いません。内容は、「現状有姿」で提供されています。S&P DOW JONES INDICES当事者は、商品性または特定目的や利用への適合性、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、もしくは内容がいかなるソフトウェアやハードウェア構成によっても動作することを含むがこれに限定されない、あらゆる明示または黙示の保証も否認します。S&P Dow Jones Indices当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連する、いかなる直接的、間接的、付随的、懲罰的、補償的、懲戒的、特別または派生的な損害、費用、経費、法的費用、または損失に対しても(逸失収入または逸失利益、および機会費用を含むがこれに限定されない)、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

信用関連の情報、及び格付け、リサーチ及び評価を含むその他の分析は、一般に、ライセンサー及び/または S&P Global Market Intelligence といった S&P Global のその他の部門を含むがこれに限定されない、S&P Dow Jones Indices の関連会社によって提供されています。信用関連の情報ならびに内容の中のその他の関連分析及び発言は、表明された日時点での意見の記述であり、事実を記述したものではありません。いかなる意見、分析及び格付承認決定も、証券を購入、保有または売却するため、または投資決定を行うための推奨ではなく、いかなる証券の適合性について言及するものではありません。S&P Dow Jones Indices は、いかなる形態または形式でも、公表後に内容を更新する義務を負いません。投資またはその他のビジネス上の決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、また利用者、その経営陣、従業員、顧問及び/または顧客のスキル、判断及び経験またそれらの代わりとなるものでもありません。S&P Dow Jones Indices LLC は、受託者または投資顧問会社としては行動しません。S&P Dow Jones Indices は、信頼できると確信する情報源から情報を取得するものの、S&P Dow Jones Indices は、受領する情報の監査を行ったり、デューデリジェンスや独立した検証の義務を負ったりしません。S&P DJI は、規制またはその他の理由により、いつでも指数を変更または中止する権利を留保します。様々な要因(S&P DJI が管理できない外部要因を含む)により、指数の大幅な変更が必要となる場合があります。

規制機関が格付機関に対して、特定の規制目的で別の法域で発行された格付けをある法域で承認することを認める範囲で、S&P Global Ratings は、いつでもその単独の判断で、かかる承認を割当、撤回または停止する権利を留保します。S&P Dow Jones Indices は、S&P Global Ratings を含め、承認の割当、撤回または停止から生じるいかなる義務も、またその理由で被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も否認します。S&P Dow Jones Indices LLC の関連会社は、S&P Global Ratings を含め、その格付け及び特定の信用関連の分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社もしくは債務者から報酬を受ける場合があります。かかる S&P Dow Jones Indices の関連会社は、S&P Global Ratings を含め、その意見及び分析を普及させる権利を留保します。S&P Global Ratings からの公開格付け及び分析は、そのウェブサイト、www.standardandpoors.com(無料)及び www.ratingsdirect.com と www.globalcreditportal.com(購読)で利用でき、S&P Global Ratings の出版物及び第三者再配布業者を通じた場合を含め、その他の方法で配布される場合があります。当社の格付け料金についての追加の情報は、www.standardandpoors.com/usratingsfees から入手できます。

S&P Global は、その様々な部門および事業部の特定の活動を、それらの各活動の独立性と客観性を守るために相互に分離しています。その結果、S&P Global の特定の部門および事業部が、他の事業部では利用できない情報を保有している場合があります。S&P Global は、各分析プロセスに関連して受け取った特定の非公開情報の秘密性を保持するために、方針および手順を確立しています。

さらに、S&P Dow Jones Indicesは、証券の発行体、投資顧問、ブローカーディーラー、投資銀行、その他の金融機関および金融仲介機関を含む多くの組織に対して、またはそれらに関連して、広範なサービスを提供してお

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス: S&P ESG 指数シリーズ・メソドロジー

り、従って、推薦、格付け、モデルポートフォリオへ組み入れ、評価または別途言及する場合があります証券やサービスの組織を含め、それらの組織から手数料またはその他の経済的利益を受ける場合があります。

一部の指数では世界産業分類基準(GICS®)を使用しています。これは、S&P GlobalとMSCIによって作成され、同二社の独占的財産かつ商標です。MSCI、S&P DJI、及びGICS分類の作成または編纂に関与したその他の当事者のいずれも、かかる基準または分類(またはそれを利用することで得られる結果)に関して、いかなる明示的または黙示的な保証または保証も行わず、かかる当事者は全て、かかる基準または分類に関して、独自性、正確性、完全性、商品性または特定目的への適合性の全ての保証を本書により明示的に否認します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合でも、MSCI、S&P DJI、その関連会社またはGICS分類の作成または編纂に関わるいかなる第三者も、いかなる直接的、間接的、特別、懲戒的、派生的、またはその他の損害(逸失利益を含む)について、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

S&P Dow Jones Indicesの商品は、それらの商品が提供される契約の条件により管理されています。S&P Dow Jones Indices及び(または)指数データを使用する、これに基づいている、及び(または)これを参照する商品あるいはサービスを表示する、そこから派生するデリバティブ商品を組成する、及び(または)配布するには、S&P Dow Jones Indicesからライセンスを取得する必要があります。

ESG 指数の免責事項

S&P DJIは、特定の環境・社会・ガバナンス(ESG)指標、または以下のような指標の組み合わせに基づいて(ただし、これらに限定されない)、指数構成銘柄の選択、除外、及び(または)ウェイト設定を行います:環境指標(天然資源の効率的利用、廃棄物の生産、温室効果ガス排出量、または生物多様性への影響など)、社会指標(不平等及び人材投資など)、ガバナンス指標(健全な経営陣の構成、従業員との関係、従業員の報酬、税務コンプライアンス、人権尊重、汚職防止、及び贈賄防止など)、特定の持続可能性または価値観に関連する企業の関与指標(例えば、非人道的兵器、タバコ製品、燃料炭の製造/販売など)、または論争的となる問題のモニタリング(ESG関連事件に関与する企業を特定するための報道機関のリサーチを含む)。

S&P DJIのESG指数では、指数構成銘柄の選択及び(または)ウェイト付けにおいてESG指標やESGスコアを使用しています。ESGスコアまたは格付けでは、環境、社会、及びコーポレート・ガバナンスの問題に関する企業あるいは資産のパフォーマンスを測定・評価することに努めています。

S&P DJIのESG指数で使用されるESGスコア、格付け、及びその他のデータは、サードパーティにより直接的または間接的に提供されています(これらのサードパーティは、S&Pグローバルの独立した関連会社である場合もあれば、無関係の事業体である場合もある)。したがって、S&P DJIのESG指数がESG要因を反映できるかどうかについては、これらのサードパーティが提供するデータの正確性や入手可能性に左右されます。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、報告される(つまり、データが企業または資産により開示されたものとして提供されている、または公に入手可能なものとして提供されている)、モデル化される(つまり、データがプロキシのみを使用して作成され、独自のモデル化プロセスを使用して導き出されている)、または報告・モデル化される(つまり、データが報告されたデータとモデル化されたデータの組み合わせであるか、または独自のスコアリングや決定プロセスにおいて報告されたデータ/情報を使用してベンダーから導き出されるかのいずれかである)場合があります。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、外部及び(または)内部の情報源から提供されるかを問わず、定性的評価及び判断的評価に基づいています。特に、明確に定義された市場基準が存在しない場合には、独自の判断を行う必要があります。これは、ESG要因や検討事項を評価する上で複数のアプローチやメソロジーが存在するためです。したがって、ESGスコア、格付け、またはその他のデータには、主観的な要素や裁量的な要素が含まれています。ESGスコアリング、格付け、及びデータソースが異なれば、ESGの評価手法や推定メソロジーも異なる場合があります。また、特定の企業、資産、または指数の持続可能性やインパクト(社会・環境へのS&Pダウ・ジョーンズ・インデックス:S&P ESG指数シリーズ・メソロジー

影響)に関しては、関与する人(ESG データの格付けプロバイダーまたはスコアリングのプロバイダー、指数のアドミニストレーター、あるいはユーザーを含む)が異なれば、最終的な結論も異なる場合があります。

指数が、サードパーティにより直接的または間接的に提供される ESG スコア、格付け、またはその他のデータを使用している場合、S&P DJI は当該 ESG スコア、格付け、またはデータの完全性や正確性について責任を負いません。「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、または同等に分類されるその他の目的を決定するための単一の明確かつ決定的なテストや枠組み(法的、規制的、またはその他)は存在しません。明確に定義された市場基準がない場合、または数多くのアプローチが存在することにより、独自の判断を行う必要があります。したがって、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的に関して、関与する人が異なれば、同じ投資、商品、及び戦略について異なる分類が行われる場合があります。さらに、新たな規制及び業界の規則やガイダンスが発行され、ESG サステナブル・ファイナンスの枠組みがアップデートされている中で、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的を構成するものに関する法的及び(または)市場の見解は、時間の経過とともに変化する可能性があります。

S&P DJI の ESG 指数のユーザーは、指数メソドロジーや開示情報を注意深く読み、その指数が使用事例や投資目的に合致しているかどうかを判断することが推奨されます。